地球温暖化防止活動　平成２２年度千葉県地域活性化プラットフォーム事業・山武郡市

100年後のふるさとへの贈り物

Eco ひいき NEWS No. 3

～水と緑ときれいな空気と心地よい空間を目指して～

交流会のご案内

「100年後のふるさとへの贈り物を、創り続けていくためには？」をテーマに、

市民活動団体の大交流会　開催

皆様のご参加をお待ちしております！

●内容
◇対談　「活動の意義」と「活動の継続のために必要なこと」
◇参加者全員でグループに分かれてワークショップ

●日時・会場
◇2月１３日（日）午後２時から４時３０分
◇山武市役所第５～７会議室（庁舎裏車庫棟２階）

山武郡市で平成２１年・２２年と行ってきたプラットフォーム事業も、今年度で終わりとなります。今まで活動に参加されてきた団体、応募してくださった団体すべての方々と２年間の集大成として大交流会を開催したいと思います。

千葉大学の関谷先生と２年間推進委員長として支えてくださった牧野委員長の対談と、参加してくださった皆さんでのグループワークを予定しています。是非日頃の市民活動について語り合おうではありませんか！　多くの皆様のご参加をお待ちしております。

ＥＣＯひいきイベント案内（１月～２月上旬）

	イベント名	場所	団体名
１月２２日（土） １０時～１５時	**「上総掘り体験」** 上総掘りで井戸掘り体験しよう	エコパーク大網白里こども村 （大網白里町）	大網白里子育て支援ネットワーク協議会
１月２２日（土） １５時～１８時	**「木の楽器と木の話」** 薩摩琵琶奏者塩高和之氏のコンサートと建築家稗田忠弘氏の講座	studio:b（㈲石橋材木店2階 （大網白里町北飯塚477-4))	さんむフォレスト
１月29日（土） １０時～13時	**「森とふれあう交流会」** 森の中で食事をしながら自然や地域のことを語ろう	大網白里町木崎646番地 （友懇の森）	NPO法人ユース・サポート・センター友懇塾
２月５日（土） １０時～１５時	**「火おこしでエコクッキング」** きりもみ式火おこしで野外料理に挑戦	エコパーク大網白里こども村 （大網白里町）	大網白里子育て支援ネットワーク協議会
２月６日（日） １３時～	**「これからの里山活動について～地域資源の再発見とビジネス～」**活動紹介、講演会、パネルディスカッション	山武市成東文化会館のぎくプラザ　視聴覚室	ひゃくしょう谷津田の会

中間報告会開催
市民活動フェスタ風の宿にて

１１月２３日に開催された
市民活動フェスタでの
中間報告会の様子です。

１１月２３日、成東文化会館のぎくプラザで、「知りあおう・つながろう・活かし合おう」をテーマに市民活動フェスタが開催され、プラットフォーム事業の中間報告会も同時開催いたしました。早朝は強い雨と風のため開催が心配されましたが、天気は回復し無事に全日程を終了しました。中間報告会では、各団体によりパネルの前で活動内容を発表。外では各団体らしい特色を持った模擬店を開いており、多くの皆さんに来店していただき、楽しい一日となりました。団体同士のやりとりも活発になり、まさにフェスタのテーマにもある連携が生まれるきっかけになった「場」となりました。

発行日：平成 22 年 12 月 30 日
発行者：山武郡市地域活性化推進委員会
問合せ：コーディネーター「NPO 法人　山武 IT 推進協会」
小島妃佐子　kojima@sambu-it.com
千葉県県民活動・文化課　(043-332-4166) 矢野
山武市市民自治支援課　(0475-80-0151) 太田

活動団体紹介

大網白里子育て支援ネットワーク協議会

事業名称：「『エコパーク大網白里子ども村』上総掘りから拡げる『環境を守る子ども育成』事業」

■所在地：山武郡大網白里町木崎６７３－２

■代表者名：丸田光男　　連絡先：0475-72-3505

大網白里子育て支援ネットワーク協議会は、名前の通り環境関連団体ではなく、地域の子育てを応援する団体です。プラットフォーム事業への参加の目的は、子ども達に対して遊び場を提供し、合わせて「環境問題意識の醸成をはかる」ことです。

現在行っている事業は、「エコパーク大網白里子ども村」の運営です。使われていない土地を借りて、自然と共有する遊び場を作り、そこで遊びを通して自然と触れ合い、自然を大切にする心や、環境に優しい生活の仕方などを学んでほしいと、毎週土曜日に開設しています。子ども達は、自然の中で自由に自分で遊びを考え、仲間と共同して楽しく遊んでいます。また、月１回のイベントでは、「野草で紙づくり」「ソーラークッキング」「エコキャンプ」「青空パーカッション」わらべうたのつどい」「流星群観察」「きりもみ式火おこし体験」等を行い、自然と環境に関心を高めています。さらに、今年度は「上総堀り」の井戸掘り体験を行うことによって、貴重な水資源の大切さを肌で感じ、将来環境保全の中心に立っていくことができる子ども達になることを期待して活動しています。

NPO 法人新月の木国際協会

事業名称：「新月伐採法のサンブスギ材による地球温暖化防止」

■所在地：東金市日吉台６－５－１５

■代表者名：増田　正雄　連絡先：0475-55-5769

新月の木国際協会は、平成１６年に森林保全を掲げて立ち上げた環境ＮＰＯです。

「新月の木」という名称は、冬季の新月直前に伐採した木（新月伐採木）は丈夫で長持するという伝承を、実証し明らかにしていく過程でできた名前なのです。丈夫で長もちする木材が得られれば、育成した年輪より長く使えるようになり、乱伐や産業林（主に針葉樹）の過栽培を防ぐことができるでしょう。照葉樹や広葉樹などの混交林は丈夫な生命土壌圏をつくり、栄養豊かな生きた水を産業林や田畑や海の生き物に供給しますから、永続的な暮らしが保証されます。これまで「新月伐採」は１２の県の産業林で試行し実用化され始めています。ここ山武地区でも、サンブスギを新月伐採（平成１７年）した木材を用い、しかも伝統工法で建てた住宅があります。これまで実施した行事は、

１）この地区に産する木（サンブスギ）を生かした「家の見学会（さんむフォレストと協働）」。

２）新月伐採と森林保全の意味を伝える「講演会（県民環境講座と協働）」。

３）新月伐採ワークショップ「新月伐採演習（森林組合北総支所と協働）」。

４）森の大切さを伝える「山武の森賛歌募集」（５曲参加）　です。さんむフォレストと早船里山の会の協力と「千葉県森林組合北総支所」の支援をうけて事業をすすめています。また、山武の森賛歌の応募活動をとおして、歌の仲間にも森林保全への理解の輪を拡げています。

野菜の自産自消の会

事業名称：「野菜の協同栽培による自産自消」

■所在地：山武郡九十九里町作田１０７８の２
■代表者名：林　章　連絡先：0475-76-7807

野菜の自産自消の会は、環境にやさしい野菜の自産自消を図るという狙いのもとに設立されました。我々は、生ゴミや野菜屑等を培養土として活用し、多品種栽培に効率が良く連作障害などに対応が容易な協同栽培を行っています。又この協同栽培は、土壌への適応性や農法の改善などのための試作栽培としても位置付けて、新規野菜に積極的にチャレンジする場としています。具体的な活動としては、

①32 品目を協同栽培
②旬の野菜自消としての露地栽培の実施
③減化成肥料化栽培をするため、生ゴミや落ち葉・野菜屑の利用、米ヌカのぼかし肥料化、海産物残渣の利用を検討・実施
④試験栽培の場として・アイスプラント・エアーポテト等の栽培
⑤休耕地の活用等

去る 11/23 の市民活動フェスタにでは、アイスプラント、菊芋等の栽培品２２０品が大変好評で完売となりました。今後、さらなる自産自消を目指して活動したいと考えます。　（※写真はエアーポテト）

NPO 御成街道保存会

事業名称：「東金御成街道の再生と周辺里山の保全」

■所在地：東金市東金１４０６番地（㈱街波通信社内）
■代表者名：神定一雄　連絡先：0475-52-2732
■担当：野口・宮原
（URL:http://onarikaido.jimdo.com/）

東金御成街道は船橋から徳川家康が鷹狩のために作らせたという東金御殿（現在の県立東金高校付近）へと続く街道（約 32 ㎞）の一部です。ＮＰＯ御成街道保存会のメンバーは地元建設業者、歴史愛好家らが中心で、平成 21 年東金商工会議所の 50 周年記念事業で同会議所建設業部会が永年倒木や雑草で寸断されていた「おあし坂」の復元事業を行ったことをきっかけに設立され、以来御成街道を中心とした地域の里山保全活動をしています。街道周辺にまつわる諸説を紐解きながら、「故郷の原風景を次世代に残す」「歴史遺産を風化しない」という活動趣旨を評価していただきました。おかげ様で、11 月 13 日（土）、21 日（日）には、御成街道の全行程を辿ったルートを３つのグループに分かれて踏破するイベントを実施、中でも 21 日に開催した市民参加のイベント「東金御成街道ウォーク」では八鶴湖畔までの行程約５㎞を各所で解説を加えながら歩き、40 名あまりの参加者とともに楽しく歴史散策をすることができました。当会ではこうした活動を通じて、間もなく家康東金来訪 400 周年を迎えるアナウンスをしながら地域の歴史と自然を次世代に残す大切さを広く訴える事を目指しています。